

ラクリオ・ラクレスト介助ブレーキ 取扱い説明書

●使用前の点検

介助ブレーキレバーを操作し、ブレーキがかかる事を確認してください。

●使用方法

介助 ブレーキレバーを握るとブレーキがかかり、離すとブレーキが解除され走行可能となります。

介助ブレーキレバーは左右同時に均等な力で操作してください。

※ゆるい下り坂や、スロープを下がる時など介助者が車いすを減速する時に
ご使用ください。

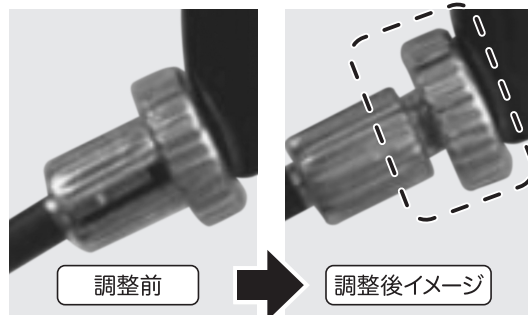
※通常の車いすよりも重量がありますので、介助ブレーキ
を使用する際も後ろ向きにゆっくり下りてください。

※ブレーキが効きにくくなった場合はブレーキレバー手元
のダイヤルにより調節できます。

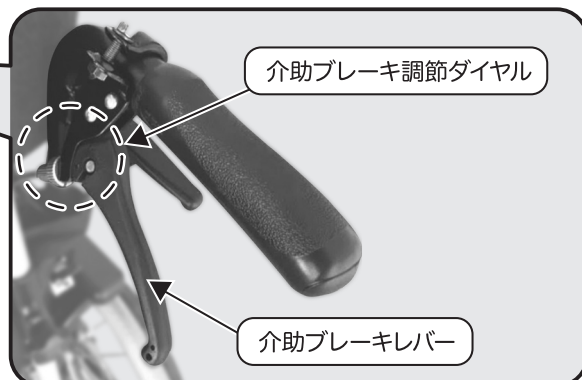
(1)固定ダイヤルを緩める。

(2)調整ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの
握りシロを確認する。

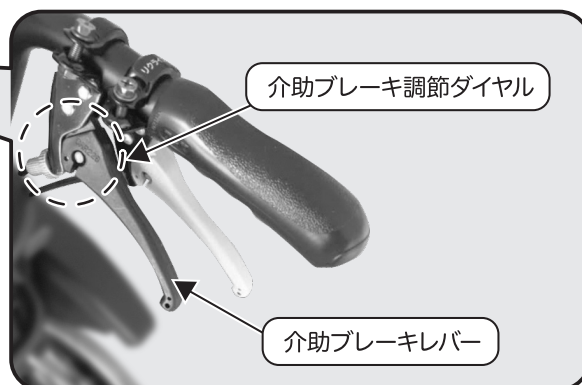
(3)ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側へ締め切り固定する。



●ラクリオ



●ラクレスト



注意

- 急ブレーキをかけないでください。
車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。
- ドラムブレーキ部分には油が付かないように注意してください。
介助ブレーキの効きが悪くなる原因となります。

プロフィットケア

座位保持ティルトリクライニング車いす

ラクレスト

PR-2000

取扱説明書 保証書付き

このたびは、ハビナス「ティルトリクライニング車いすラクレスト」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用いただく前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いいただきますようお願い致します。



目 次

1. おもな機能と特長	3	6. お手入れの方法	18
2. 各部位の名称	4	7. 保管方法	18
3. 安全にお使いいただくために	6	8. 仕様	19
4. 使用方法	8	9. アフターサービス	19
5. 使用前の点検	17	保証書	20

1. おもな機能と特長

多彩な姿勢保持機能を搭載したティルトリクライニング型車いすです。

◎姿勢保持

- やわらかクッションシートを取り付けることで、クッション性がさらに高まります。
- ①サイドサポートを6段階の角度調節により体を横方向から支えます。
- ②バッククッションの背折れ機能、ヘッドサポートの高さ・角度・左右調整により円背などの姿勢保持に対応します。
- ③1本のレバー操作により、ティルトリクライニング角度を調整できます。
- ④アームサポートは4段階の高さ調整が可能です。
- ⑤移乗時はアームサポートをシート座面と同じ高さに下げることができます。
- ⑥フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などに近づくことができます。またフット・レッグサポートは取り外すことができます。
- ⑦座面クッションは使用者に合わせて、長さを調節することができます。

◎座り心地

クッション性の良いシートをスプリングで支えることで良い座り心地を確保しています。

◎安全性

- ①手挟み防止と体のサポートに優れたサイドガード付きです。
- ②駐車ブレーキペダルは、背もたれをリクライニングさせた状態でも操作がしやすい、足踏みペダル式です。

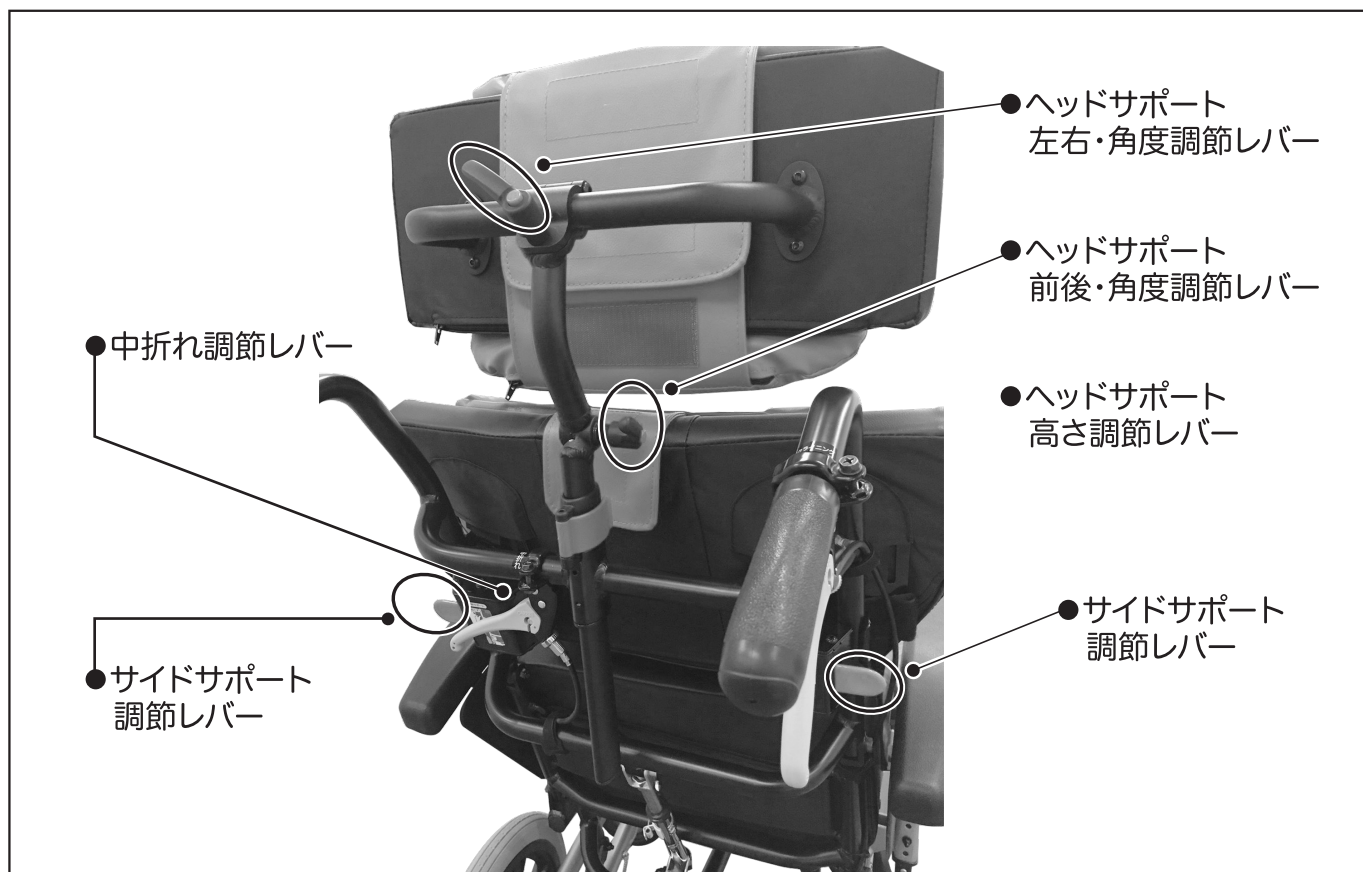
2. 各部の名称

やわらかクッションシート取り付け時



やわらかクッションシート取り外し時





3. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋・家財およびペットに関わる拡大損害を意味します。

禁止

製品使用上、禁止とする行為を示します。

指示

製品使用上、必ず行っていただきたい行為を示します。

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

操作・走行上の注意

警告

- 「ティルトリクライニング車いす」の取扱いは、介助者が必ず行ってください。
- ご使用中に、異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。
- 急な下り坂で介助する時は、後ろ向きにゆっくり降りてください。
- 本製品は1人用に設計されています。2人以上で使用しないでください。
※最大使用者体重（積載物含む）は75kgです。
- スピードを出さないでください。
- スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは、転倒の恐れがあり大変危険です。
- 前かがみの状態など、車いす前方へ体重をかけるような状況は、座面後方が浮き上がり前方に転倒する恐れがあります。
- フットサポート及びレッグサポートの上には、絶対に乗らないでください。また、座面以外に腰かけますとバランスを崩し転倒する恐れがあります。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 勝手に改造・分解しないでください。特に車いすの下部にある黒いシリンダーは高圧ガスが封入されていますので、大変危険です。

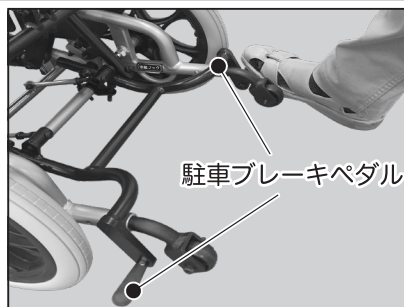
注意

- 車いすを火気に近づけないでください。ヤケド・火災・故障の原因になります。

停止時の注意

警告

- 停止時は、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
- 駐車ブレーキを掛け忘れると、車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。
- 急な下り坂で介助する時は、後ろ向きにゆっくり降りてください。
- 駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで確実に踏み込んでください。



リクライニング時の注意

⚠ 注意

- 手や腕がアームサポートより外に出た状態でリクライニングまたは、起こす操作をしないでください。
- 背もたれ、フレーム、アームサポートなどにご使用者の手や腕をひっかけたり、挟むなどしてケガをする恐れがあります。
- リクライニングした状態で、バックサポート上に乗り込みますと、転倒する恐れがありますので、おやめください。
- リクライニングする際は、必ず駐車ブレーキをかけ、リクライニングすることをご使用者へ声掛けしてから行ってください。
- 介助者は車いすに乗って介助しないでください。

移乗時の注意

⚠ 注意

- 移乗する時は、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
- 移乗する時は、アームサポートに無理な体重や荷重がかからないように、アームサポートを下げてください。
- 通常使用する時は、必ずアームサポートがロックされる状態まで上げてください。



段差乗り越えの注意

⚠ 注意

- 無理な力による段差乗り越えはフレームの破損に繋がりますのでおやめください。

足元のティッピングレバーに足を当て、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



4. 使用方法

(1) 開梱

以下①～⑧があることをご確認ください。



①製品本体



②取扱説明書(本書)



③フット・レッグサポート:2点



④ヘッドクッション
(やわらかクッション枕)



⑤やわらかクッションシート



⑥骨盤クッション

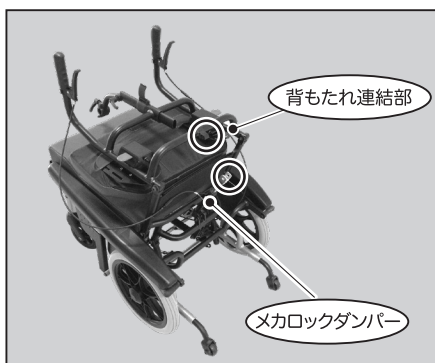


⑦転倒防止バー:2点

(2) 最初の準備(組み立て方法)

2-1. 背もたれ連結部の固定

- ①製品本体後ろ側のメカロックダンパーに予め装着されているボルトと留め具を外します。
- ②手押しハンドルを持ち背もたれを起こしながら、連結部をメカロックダンパーに合わせます。
- ③①で取り外したボルトと留め具を取り付け、固定させます。
- ④ティルト・リクライニング操作がスムーズにできることを確認してください。※P.13(8)参照



注意



組み立てる際、ワイヤーやクッションなどをはさみ込まないように注意してください。
破損の原因になります。



注意



ボルトや留め具などの細かい部品は、組み立ての際、無くさないように注意してください。



2-2.ヘッドサポートの取り付け

- ①駐車ブレーキを掛けてください。※P.11(3)参照
- ②ヘッドサポート左右・角度調節レバーを外し、ヘッドサポート受け部を開きます。
- ③ヘッドサポートフレームを受け部に乗せます。
- ④ヘッドサポート受け部を閉じ、ヘッドサポート左右・角度調節レバーを締め切り、ヘッドサポートを固定します。



注意



ヘッドサポート左右・角度調節レバーは、しっかりと固定されるまで回してください。固定が甘いと、ヘッドクッションが上下し、事故やケガの原因になります。



注意



使用者が乗っている状態でヘッドクッションの取り外しを行わないでください。事故やケガの原因になります。

2-3.骨盤クッション、やわらかクッションシートの取り付け

- ①駐車ブレーキを掛けてください。※P.11(3)参照
- ②骨盤クッションと製品本体の骨盤部分にある面ファスナーを、張り合わせます。
- ③やわらかクッションシート裏側2箇所面のファスナーを、骨盤クッションとバッククッション後ろ側の面ファスナー部に張り合わせます。



2-4. フット・レッグサポートの取り付け（取り外し）

①回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



②取り外しはフット・レッグサポートを外側に回転させた状態で上方に引き上げます。

③取り付けは逆の手順で、フット・レッグサポートを受けパイプにはめ込み、内側に回転させます。



注意



フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。



フット・レッグサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

2-5. 転倒防止バーの取り付け（取り外し）

①駐車ブレーキを掛けてください。※P.11(3)参照

②取り外す場合、固定ピンを押し込み、転倒防止レバーをまっすぐ引き抜いてください。

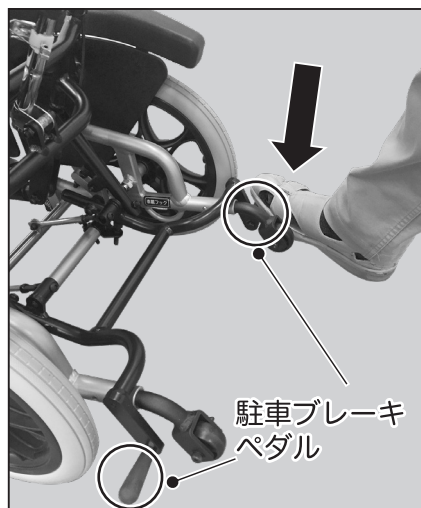
③取り付ける場合、転倒防止レバー固定ピンを押し込みながら、ティップingleバーに、転倒防止レバーをまっすぐ差し込みます。

④フレーム穴部に固定ピンがはまり、固定されたことを確認してください。



(3) 駐車ブレーキの掛け方

駐車ブレーキペダルを踏むと駐車ブレーキがかかり、上へ戻すと解除されます。



注意



⚠ 停車時は、必ず駐車ブレーキを掛けてください。



⚠ 駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで、確実に踏み込んでください。

(4) アームサポートの上げ方、下げ方

①アームサポートの中央付近を持ち、任意の高さになるまでゆっくりと上げてください。

※高さは4段階まで、調節が可能です。

②下げる際は、アームサポートの支柱根元に設けられた固定ノブを引き、ゆっくりと下げてください。

上げ方



下げ方



注意



⚠ アームサポートの高さを調節した際は、確実にロックされた事を必ず確認してください。



⚠ アームサポートの上げ下げは、ご使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを確認してから操作してください。また、介助者はストッパーのつまみをしっかり握り、指を挟まれないよう十分に注意し、ゆっくりと操作してください。



⚠ サイドガードと車いすの間に手や指が挟まっていないことを 充分確認してから操作してください。



⚠ 移乗する時は、必ずアームサポートを下げてください。アームサポートに無理な体重や荷重がかかり、フレームが変形・破損したり、アームサポートの上げ下げが固くなる恐れがあります。

(5) フットサポートの取り扱い

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
移乗時や介助の妨げになるときは跳ね上げてください。



注意



フットサポートの上に乗って、
車いすに乗りこんだり、立ち上がらないでください。



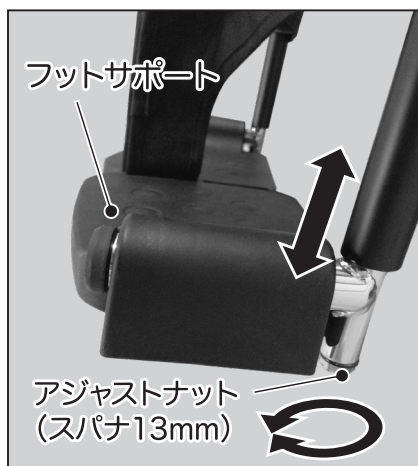
注意



フットサポートの操作時は使用者の足や指が挟まっていないことを
十分に確認してから操作してください。

(6) フットサポートの高さ調節方法

- ①アジャストナットをスパナでゆるめ、フットサポートを上下させて、使用者の足位置に合わせます。
- ②位置が決まったら、アジャストナットを締め込み固定します。



注意



フットサポートの最低地上高は5cm以上確保してください。
走行中に段差に接触し、転倒するなどケガにつながる恐れがあります。



注意



アジャストナットは確実に締め付けてください。

(7) サイドサポート角度の調節方法

左右のサイドサポート角度を調節することで使用者の身体を横方向から支えることができます。

製品本体のサイドサポートを押し込むことで、身体支持面の角度をつけることができます。

(調節は6段階で行えます)

サイドサポートの角度を戻す場合は、サイドサポート調節レバーを押し込むことで、元の位置に戻ります。



注意

- ⚠ サイドサポートと製品本体の間に、手や指を挟みこまないよう十分に注意して操作を行ってください。
- ⚠ サイドサポートの角度を調節した際は、必ずサイドサポートが固定されたことを確認してください。

(8) ティルトリクライニング角度の調節方法

ティルトリクライニングレバーを握ると、背もたれ部分の固定が解除され、任意の角度に調節ができます。

レバーを離した角度で固定されます。



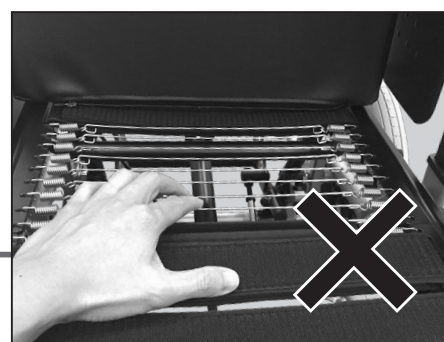
注意

- ⚠ リクライニング操作中は、使用者から目を離さないでください。
- ⚠ レバーの操作は、必ず駐車ブレーキを掛けてから行ってください。
- ⚠ ティルトリクライニング操作を行う際は、使用者の手や足がアームサポートより外に出ていないことを確認してから行ってください。
- ⚠ サイドガードと車いすの間に、手や足が挟まっていないことを十分に確認してから操作してください。

(9)座面クッションの奥行き調節

座面クッションの奥行きを、使用者に合わせて調節することができます。(最大8cm前方に伸ばせます)

- ①両輪の駐車ブレーキを掛けてください。※P.11(3)参照
- ②座面クッション下、左右にある座面クッション長さ調節ノブを緩めます。
- ③クッション下のパイプを持ち、前方に引き出して、任意の長さに調節します。
- ④調節ノブを左右しっかりと締め、座面クッションが固定されたことを確認します。



注意



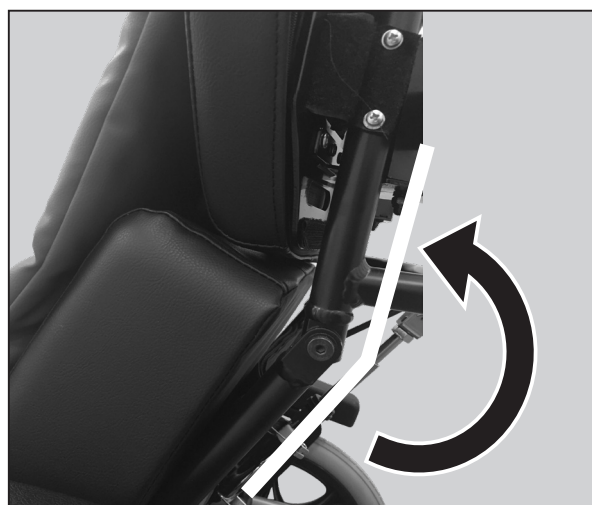
座面クッションを前方に引き出す際は、クッション下のワイヤーやスプリングを持たないでください。手や指を挟み、ケガの原因になります。

(10)中折れ角度の調整方法

中折れ角度を調節することで円背などの身体保持ができます。

中折れ調節レバーを握ると背折れ部の固定が解除され、任意の中折れ角度に調節ができます。

中折れ調節レバーを離した角度で固定されます。



注意



中折れ角度調節レバーを握る際、製品本体後ろ側のメカロックダンパーに手や指を挟みこまないように注意してください。

(11)ヘッドサポート調節方法

ヘッドサポートの高さ、角度、左右方向の調整ができます。

11-1.高さ調節

- ①ヘッドサポートを持ちながら、ヘッドサポート高さ調節レバーを開きます。
- ②ヘッドサポートを任意の高さに調節し、ヘッドサポート高さ調節レバーを締め、ヘッドサポートが確実に固定させていることを確認してください。



11-2.前後・角度調節

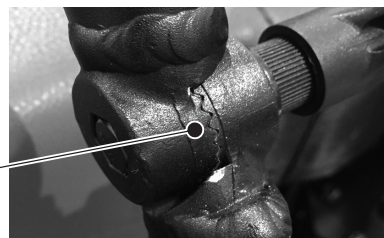
- ①ヘッドサポートを持ちながら、ヘッドサポート前後・角度調節レバーを緩めます。
- ②ヘッドサポートを任意の前後位置・角度に調節し、ヘッドサポート前後・角度調節レバーを締め、ヘッドサポートが確実に固定させていることを確認してください。



前後・角度調整後の固定の際はギア部が確実に噛み合っていることを確認してください。またご使用前にガタツキが無いことを確認してください。



ギア部



11-3.左右・角度調節



- ①ヘッドサポート左右・角度調節レバーを緩める場合は、レバーを左(時計回り反対方向)に回します。
- ②ヘッドサポート左右・角度調節レバーを締める場合は、レバーを右(時計回り)に回します。
※レバーを持ち上げるとレバーが空転し、回しやすい位置に調節することができます。
- ③ヘッドサポートを任意の左右・角度調節を行い、調節レバーを締め、ヘッドサポートが確実に固定させていることを確認してください。

①緩め方



②締め方



注意

- ⚠ ヘッドサポートを調節する際は、必ず駐車ブレーキを掛けてから行ってください。
- ⚠ 過度なレバー操作を行いますと、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ⚠ ヘッドサポートを調節する際は、連結部や可動部に手や指を挟まないように、注意しながら操作してください。ケガの原因になります。

5. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタツキがあった時には、ご使用を取りやめ、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

①駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキペダルを操作し、駐車ブレーキが掛かることを確認してください。

②背もたれ部分が固定されていることの確認

- 1) 背もたれ連結部のボルトと留め具をチェックし、確実に固定されていることを確認してください。
- 2) 背もたれ部分を倒し、ティルトリクライニングレバーを放したとき、
背もたれ部分が固定されていることを確認してください。

③可動部分の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ねじの緩みのないことを確認してください。ねじが緩んでいると、ねじが脱落し、事故につながる恐れがあります。

④消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店又は、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

消耗品・交換部品

部 品 名	交 換 時 期
後 車 輪	タイヤ表面の溝がなくなった時。表面がひび割れた時。
前 輪 キ ャ ス タ ー	しっかり取り付けていてもガタガタする時。表面がひび割れた時。
ヘ ッ ド ク ッ シ ョ ン	ほつれ、切れ目が発生した時。ひどく汚れた時。
バ ッ ク ク ッ シ ョ ン	
座 面 ク ッ シ ョ ン	
やわらかクッションシート	
やわらかクッション枕	ワイヤーにほつれ、サビが発生した時。
ティルトリクライニングワイヤー	



注意



交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。

6. お手入れの方法

①本体フレームのお手入れ

- 1) フレーム汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 2) 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。



車いす本体を水洗いされますと、動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたす恐れがありますので、おやめください。

- 3) 車軸などの動作部に潤滑油を塗布してください。



後輪タイヤ表面に潤滑油が付着しないように注意してください。
駐車ブレーキが効かなくなる恐れがあります。

②樹脂部のお手入れ

- 1) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
- 2) 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。



樹脂部を消毒用アルコール、有機溶剤、塩素系洗剤などで拭きますと変色、劣化の恐れがありますので、おやめください。

③各種マットのお手入れ

- 1) ヘッドクッション、バッククッション、座面クッション、やわらかクッションシート、やわらかクッション枕は洗濯をしないでください。
- 2) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。

④アームサポートのお手入れ

- 1) アームサポートの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
注意) 研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなど、洗浄時にキズが生じる恐れのあるものは使用しないでください。
- 2) アームサポートのパイプの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
注意) 汚れがひどくなりますと、アームサポートが上下に動かなくなる恐れがあります。



シンナー、ベンジンなどの溶剤は、使用しないでください。塗装がはがれるなど、製品を傷める恐れがあります。

7. 保管方法

- ①製品の劣化をさけるため直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
- ②錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が著しく高い場所（50℃以上）には保管しないでください。

8. 仕 様

項 目		仕 様
材 質	フレーム/表面処理	アルミ
	シート、クッション(表地)	ビニールレザー
	クッション(中材)	ウレタンフォーム
寸 法	全 長	1170mm
	全 幅	574mm
	全 高	1200mm
	座 面 幅	400mm
	座 面 奥 行	360～440mm (バックサポート部クッションから) ※やわらかクッションシート除く
	前 座 高	470mm ※やわらかクッションシート除く
	後 座 高	415mm ※やわらかクッションシート除く
	アームサポート高	座面から175,200,225,250mm ※やわらかクッションシート除く
	座 面 角 度	7～10°
	背 も た れ 角 度	95～130°
	後 輪 × 前 輪	14インチ/6インチ
最 大 許 容 体 重		75kgまで
重 量		26.5kg

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

9. アフターサービス

この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、製造番号(ロットNo.)、および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ(株)またはピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

製品の保証について

- 1) 保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
- 2) 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中 製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）ピジョン（株）お客様相談室までお問い合わせください。

保証規定

1. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において。万一故障した場合には無料で修理いたします。ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室までお問い合わせください。ただし、キャスター・車輪の摩耗、シートの破れなど、交換時期となった消耗品・消耗部品は保証対象に含まれません。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック・ゴム・木部品の自然劣化による変色。
 - (b) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (d) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (e) 本書の提示がない場合。
 - (f) 有料修理の場合に要する発送運賃、消耗品の代金。
 - (g) 縫製部品の傷や汚れ。また洗濯による退色や収縮。
4. 本書は日本国内にのみ有効です。海外からの修理サービスはできません。
5. 製造中止後の製品については交換用部品がなくなった場合、修理できないことがあります。

- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店先をただちに記入願います。
- 万が一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室までお問い合わせください。

製品名		シリアル番号	保証期間
ハビナース ラクレスト			お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月	
	ご住所 〒	TEL	
販売店	店名	TEL	
	住所 ※1		

※1 お買い上げ時のレシート添付でも有効

ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
ピジョンタヒラ(代表)

TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは
<http://www.pigeontahira.co.jp>

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
ピジョンお客様相談室

TEL **0120-741-887**

受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

ピジョンホームページは
<https://pigeon.info/>